

調 査 研 究 結 果

観 点	種目	発行者	教科書名
	社会（歴史）	2・東書	新編 新しい社会 歴史
取 扱 内 容	○歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ○「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史上の人物や文化財、出来事に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりすることができるようになっている。 ○「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、福岡や福井の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、テーマや問いを設定した調査・考察から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりすることができるようになっている。 ○「古代までの日本」において、奈良時代の律令国家の成立に着目して、貴族と庶民の生活に相違が出た理由を考察したり、単元のまとめでは「古代の日本ではどのように国家が形成されたか」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○「中世の日本」において、鎌倉時代の武士の政権の特色に着目して、貴族の邸宅と武士の館を比較し違いを考察したり、単元のまとめでは「武士の支配が広がり社会はどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○「近世の日本」において、江戸幕府の支配の仕組みに着目して、地図で大名の配置を読み取り、その理由を考察したり、単元のまとめでは「近世の日本では社会にどのような変化が見られたか」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○「近代の日本と世界」において、明治政府の諸改革の目的に着目して、アイヌの人々と琉球の人々への対応の共通点を考察したり、単元のまとめでは「近代化で日本はどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○「現代の日本と世界」において、戦後の政治の展開と国民生活の変化に着目して、日本復興を象徴する出来事を考察したり、単元のまとめでは「戦後の日本は何をきっかけに成長したのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、近世の社会の様子学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、屏風絵等の複数の資料を比較し、時代の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。		
内 容 の 構 成・ 排 列	○内容の構成・排列については、「歴史へのとびら」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。また、北海道に関わりのある内容については、江戸時代の最上徳内、近藤重蔵、間宮林蔵らの北方探検の地図を掲載して、その行程を紹介したり（全学年）、「アイヌ文化とその継承」として、儀式や生活の様子などの資料を掲載して、アイヌ文化の成立と展開、アイヌ文化継承の動きを説明したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がされている。		
使 用 上 の 配 慮 等	○「チェック＆トライ」で一単位時間の学習の最後に振り返る活動（全学年）や、「みんなでチャレンジ」で他者の意見を取り入れ、自分の意見を調整する活動（全学年）を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○教科書の使い方について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。		
そ の 他			

調 査 研 究 結 果

観 点	種目	発行者	教科書名
	社会（歴史）	17・教出	中学社会 歴史 未来をひらく
取 扱 内 容	○歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ○「私たちと歴史」において、小学校で学習した人物や文化財、できごとなどに着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりすることができるようになっている。 ○「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、鎌倉や名古屋の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査方法や発表方法を示した地域調査の手引きから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりすることができるようになっている。 ○「古代までの日本」において、奈良時代の律令国家の成立に着目して、律令制のもとでの暮らしを考察したり、単元のまとめでは「国はどのように生まれたのだろうか」という主題を設けて時代の特徴を理解したりすることができるようになっている。 ○「中世の日本」において、室町時代の文化の変化に着目して、社会の変化との結び付きを考察したり、単元のまとめでは「武士と民衆の成長によって、社会はどのように変化したのだろうか」という主題を設けて時代の特徴を理解したりすることができるようになっている。 ○「近世の日本」において、江戸時代の国際関係に着目して、鎖国のもとでの世界との結び付きを考察したり、単元のまとめでは「近世の日本はどのような政治のしくみをつくったか」という主題を設けて時代の特徴を理解したりすることができるようになっている。 ○「近代の日本と世界」において、明治政府の政策に着目して、アイヌ民族や琉球の人たちへの影響を考察したり、単元のまとめでは「近代の日本では政治・社会・文化はどのように変化したか」という主題を設けて時代の特徴を理解したりすることができるようになっている。 ○「現代の日本と世界」において、国際社会での我が国の役割に着目して、平和な世界を築く取組を考察したり、単元のまとめでは「戦後、日本は世界とどう関わり、社会をどう変化させたか」という主題を設けて時代の特徴を理解したりすることができるようになっている。 ○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、中世の日本と世界の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、絵巻物を中心に複数の資料を比較し、人々の生活の様子について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。		
内 容 の 構 成・ 排 列	○内容の構成・排列については、「歴史のとらえ方・調べ方」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特徴や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。また、北海道に関わりのある内容については、江戸時代に函館に来航したペリー艦隊の航路や函館にある来航記念碑の資料を掲載して、函館寄港の際のエピソードを紹介したり（全学年）、アイヌの人たちの言葉や文化について、神話の資料を掲載して、現在までアイヌ文化を伝えてきた人々の努力を説明したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がされている。		
使 用 上 の 配 慮 等 そ の 他	○「確認」で一単位時間の学習内容を振り返って整理する活動（全学年）や、「表現」で学習内容を図に表したり、自分の言葉で説明したりする活動（全学年）を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○教科書の使い方について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台 端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。		

調 査 研 究 結 果

観 点	種目	発行者	教科書名
	社会（歴史）	4 6 ・ 帝国	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
取 扱 内 容	○歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ○「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史上の人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりすることができるようになっている。 ○「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、博多や横浜の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、テーマや課題を設定した調査から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりすることができるようになっている。 ○「古代までの日本」において、古墳時代の日本列島における国家形成に着目して、前方後円墳の役割を考察したり、単元のまとめでは「古代の社会にはどのような特色があったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○「中世の日本」において、鎌倉時代の武家政権の成立に着目して、貴族と比較して武士の暮らしの特徴を考察したり、単元のまとめでは「武士による政治で社会がどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○「近世の日本」において、江戸時代の人々の考えや幕府の方針に着目して、江戸時代の政治や社会の特色を考察したり、単元のまとめでは「全国を統一する政権の誕生で社会がどう変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○「近代の日本と世界」において、明治維新と近代国家の形成に着目して、明治政府の国づくりの進め方を考察したり、単元のまとめでは「近代国家の建設を目指し社会はどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○「現代の日本と世界」において、日本の経済の発展に着目して、高度経済成長、東京オリンピックの意義を考察したり、単元のまとめでは「戦後の日本の社会はどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、江戸時代の町人文化の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、イラスト等の複数の資料を基に江戸の人々の暮らしについて話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。		
内 容 の 構 成 ・ 排 列	○内容の構成・排列については、「歴史のとらえ方と調べ方」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。また、北海道に関わりのある内容については、屯田兵による開拓や開拓使による札幌の建設、官営工場の設置などの北海道の開拓を紹介したり（全学年）、「アイヌ民族の暮らし」として、儀式や生活の様子、言葉などの資料を掲載して、アイヌ民族の生活の様子や交易を説明したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がされている。		
使 用 上 の 配 慮 等 そ の 他	○「説明しよう」で説明する活動を通して学習を振り返る活動（全学年）や、「アクティブ歴史」で自分の意見をまとめたり、他者と意見を交換したりする活動（全学年）を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○教科書を活用した学び方について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。		
そ の 他			

調 査 研 究 結 果

	種目	発行者	教科書名
観 点	社会（歴史）	8 1・山川	中学歴史 日本と世界 改訂版
取 扱 内 容	○歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ○「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史を大きく変えた人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、考古学や政治、社会、年号による時代区分についてのまとめや年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりすることができるようになっている。 ○「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、平泉や金沢の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査方法やレポートの作成方法を示した資料から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりすることができるようになっている。 ○「古代までの日本」において、平安時代の東アジアとの交流に着目して、文化の国風化を考察したり、単元のまとめでは「平安時代になると、社会はどのように変化したのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○「中世の日本」において、室町時代の武家政治の展開に着目して、幕府の仕組みや守護の役割の変化を考察したり、単元のまとめでは「宗教の果たした役割を考えて みよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○「近世の日本」において、江戸時代の対外関係に着目して、経済的な発展や文化の形成を考察したり、単元のまとめでは「社会や経済の変化に対して、幕府はどのように対応したのだろうか」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○「近代の日本と世界」において、明治政府の外交の展開に着目して、国際関係の変化を考察したり、単元のまとめでは「明治政府はどのような近代国家をつくろうとしていたのだろうか」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○「現代の日本と世界」において、日本国憲法と日本の民主化に着目して、国際関係 の変化と日本の外交を考察したり、単元のまとめでは「冷戦下の世界で起こった戦争の特徴は何だろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、日露戦争と東アジアの学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、風刺画や地図などの様々な資料を基に日露戦争が与えた影響について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。		
内 容 の 構 成 ・ 排 列	○内容の構成・排列については、「歴史との対話」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされている。また、北海道に関わりのある内容については、明治時代の札幌の地図やクラークの資料を掲載し、開拓の歴史などから札幌について考える課題を位置付けたり（全学年）、「アイヌ民族の歴史と文化について、アイヌ民族の首長やイオマンテの様子を描いた絵を掲載して、特徴を示したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がされている。		
使 用 上 の 配 慮 等	○「ステップアップ」で一単位時間の学習内容を踏まえた発展的な学習活動（全学年）や、「歴史を考えよう」で学んだことを基に話し合い、考察する活動（全学年）を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○教科書の使い方について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインを取り入れたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。		
そ の 他			

調 査 研 究 結 果

観 点	種目	発行者	教科書名
	社会（歴史）	1 1 6 ・ 日 文	中学社会 歴史的分野
取 扱 内 容	○歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ○「私たちと歴史」において、小学校で学習した人物や文化財、ことがらに着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、年号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりすることができるようになっている。 ○「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、奈良や姫路の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、テーマや課題を設定した調査・考察 から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりすることができるようになっている。 ○「古代までの日本」において、奈良時代の律令国家の成立に着目して、政治や文化の特色を考察したり、単元のまとめでは「日本という国はどのように生まれ、発達していったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○「中世の日本」において、室町時代の商工業の発展に着目して、民衆の成長による社会の変化を考察したり、単元のまとめでは「たえず戦乱がくり返される時代となったのはなぜか」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○「近世の日本」において、江戸幕府の政策や社会の変化に着目して、政治改革が成功しなかった理由を考察したり、単元のまとめでは「戦乱のない安定した時代は、どのように続いたか」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○「近代の日本と世界」において、江戸時代の幕藩体制とのちがいに着目して、明治 政府の政策の目的を考察したり、単元のまとめでは「近代化の特色は、どのような点にあらわれているか」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○「現代の日本と世界」において、経済大国日本と外国の関係に着目して、世界に与えた影響を考察したり、単元のまとめでは「戦後日本は平和で民主的な社会、豊かな暮らしをどう追求したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、承久の乱の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、地図や年表などの複数の資料を基に、古代から中世への時代の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。		
内 容 の 構 成 ・ 排 列	○内容の構成・排列については、「私たちと歴史」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。また、北海道に関わりのある内容については、北方領土に関する条約や国境の変化の地図、写真などの資料を掲載して、第二次世界大戦後の日本の取組を説明したり（全学年）、アイヌ文化について、儀式や神話、国立アイヌ民族博物館などの資料を掲載して、アイヌ文化の伝承について説明したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がされている。		
使 用 上 の 配 慮 等 そ の 他	○「確認」で一単位時間の学習の理解を確認する活動（全学年）や、「学び合い」で話し合いなどの対話的な活動（全学年）を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫がされている。 ○教科書の構成と学び方について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する（全学年） など、使用上の便宜が図られている。		
そ の 他			

調 査 研 究 結 果

観 点	種目	発行者	教科書名
	社会（歴史）	225・自由社	新しい歴史教科書
取 扱 内 容	○歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ○「私たちと歴史」において、小学校の歴史学習で学んだ人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や元号、世紀、時代区分などの資料から年代の表し方の意味や意義を理解したりすることができるようになっている。 ○「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、奈良と京都の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査や考察したことから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりすることができるようになっている。 ○「古代までの日本」において、大和朝廷による国内の統一に着目して、古墳の広まりから勢力の広がりを考察したり、単元のまとめでは「古代とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特徴を理解したりすることができるようになっている。 ○「中世の日本」において、鎌倉時代の武士の政権の特徴に着目して、将軍と武士の主従関係を考察したり、単元のまとめでは「中世とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特徴を理解したりすることができるようになっている。 ○「近世の日本」において、江戸幕府の諸政策の目的に着目して、江戸時代の社会の安定を考察したり、単元のまとめでは「近世とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特徴を理解したりすることができるようになっている。 ○「近代の日本と世界」において、近代産業の発展と国民生活の変化に着目して、日本の産業革命の進行を考察したり、単元のまとめでは「近代前半（幕末・明治）とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特徴を理解したりすることができるようになっている。 ○「現代の日本と世界」において、高度経済成長と日本の発展に着目して、社会や外交への影響を考察したり、単元のまとめでは「現代とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特徴を理解したりすることができるようになっている。 ○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、二つの世界大戦と日本の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、二つの世界大戦の共通点と違いについて話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。		
内 容 の 構 成・ 排 列	○内容の構成・排列については、「歴史のとらえ方」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特徴や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫されている。また、北海道に関わりのある内容については、江戸幕府から蝦夷地（北海道）の測量を命じられた伊能忠敬の地図と現在の日本地図を比較して紹介したり（全学年）、アイヌの人々の文化や生活について、イオマンテなどの祭りや音楽、サケ、コンブ、毛皮などの交易の様子を説明したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がされている。		
使 用 上 の 配 慮 等	○本文の記述を深め、歴史の見方のヒントを与える読み物（全学年）や、「チャレンジ」で単元を学習したあと挑戦したいワンポイントの課題を掲載する（全学年）など、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○教科書の使い方について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、レイアウトの統一に配慮したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、ICTの活用例を掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。		
そ の 他			

調 査 研 究 結 果

観 点	種目	発行者	教科書名
	社会（歴史）	227・育鵬社	新しい日本の歴史
取 扱 内 容	○歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ○「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史上の人物や文化財に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりすることができるようになっている。 ○「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、大坂や横浜の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、実際の調べ学習を例にした調査の流れから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりすることができるようになっている。 ○「古代までの日本」において、飛鳥時代の律令国家の確立に至る過程に着目して、聖徳太子が目指した政治を考察したり、単元のまとめでは「資料を見て古代の日本の変化について考えよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○「中世の日本」において、鎌倉時代の武家政権の成立に着目して、古代の律令政治との違いを考察したり、単元のまとめでは「人々の暮らしや社会がどのように変わったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○「近世の日本」において、江戸幕府の成立と大名統制に着目して、江戸幕府による支配が続いたことを考察したり、単元のまとめでは「江戸時代の社会はどのような社会になっていったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○「近代の日本と世界」において、大日本帝国憲法の制定に着目して、憲法の作られ方や政治のしくみを考察したり、単元のまとめでは「近代化に向けて歩んだ日本にとってどんな時代だったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○「現代の日本と世界」において、第二次世界大戦後の諸改革に着目して、憲法が大きく変化した点を考察したり、単元のまとめでは「戦後の日本と世界の歩みからどんな時代だったといえるか」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第一次世界大戦後の国際情勢の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、地図資料を基に世界の植民地やアジアの民族運動について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。		
内 容 の 構 成 ・ 排 列	○内容の構成・排列については、「序章」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がされている。また、北海道に関わりのある内容については、明治時代の開拓使による北海道の開拓について、屯田兵による開拓の様子をなど紹介したり（全学年）、「蝦夷地との交易」の中で、儀式の様子を描く資料などを掲載して、アイヌ民族による交易の様子や和人との関わりを説明したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がされている。		
使 用 上 の 配 慮 等 そ の 他	○「確認と探究」で学習内容を振り返る活動（全学年）や、「TRY!」でグループで話し合ったり調べたりして取り組む対話的な活動（全学年）を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○教科書の構成について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。		

調 査 研 究 結 果

観 点	種目	発行者	教科書名
	社会（歴史）	236・令書	国史教科書 第7版
取 扱 内 容	○歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ○「私たちと歴史」において、小学校で学習した人物と文化に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や元号、世紀、時代区分などの説明から年代の表し方の意味や意義を理解したりすることができるようになっている。 ○「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、堺の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査や発表の方法を示した資料から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりすることができるようになっている。 ○「古代までの日本」において、古墳時代の日本列島における国家形成に着目して、同じ形の前方後円墳が点在する意味を考察したり、単元のまとめでは「古代の時代ごとの特色をとらえよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○「中世の日本」において、南北朝の争乱と室町幕府に着目して、足利尊氏が建武政 権から離反した理由を考察したり、単元のまとめでは「鎌倉時代に登場した新しい 仏教を分類しよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○「近世の日本」において、江戸幕府の支配の仕組みに着目して、江戸幕府が 200 年以上も続いた理由を考察したり、単元のまとめでは「世界の植民地競争に巻き込まれた激動の時代を調べよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○「近代の日本と世界」において、日清・日露戦争に着目して、諸国に与えた影響を考察したり、単元のまとめでは「明治維新による近代化と弊害について調べ考えよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○「現代の日本と世界」において、日本の経済の発展に着目して、戦後の復興を果たすための国民の努力を考察したり、単元のまとめでは「歴史について議論し協力して結論を導こう」という主題を設けて時代の特色を理解したりすることができるようになっている。 ○主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、明治維新の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、明治維新による近代化のさまざまな側面について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。		
内 容 の 構 成・ 排 列	○内容の構成・排列については、「国史を学ぶにあたって」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がされている。また、北海道に関わりのある内容については、江戸時代における欧米諸国の接近の学習において、ロシアのラクスマンによる根室への来航について説明したり（全学年）、「鎖国下の対外窓口」の中で、儀式の様子を伝える資料を掲載して、アイヌの人々と和人との交易について紹介したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がされている。		
使 用 上 の 配 慮 等 そ の 他	○「歴史カードを作ってみよう」では、小学校で学んだ人物について調べる活動（全学年）や、「グループで歴史を調べよう」でテーマを決めて調べる活動（全学年）を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○教科書の使い方について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、カラー印刷の「巻末口絵」や「日本美術図鑑」を掲載したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。		